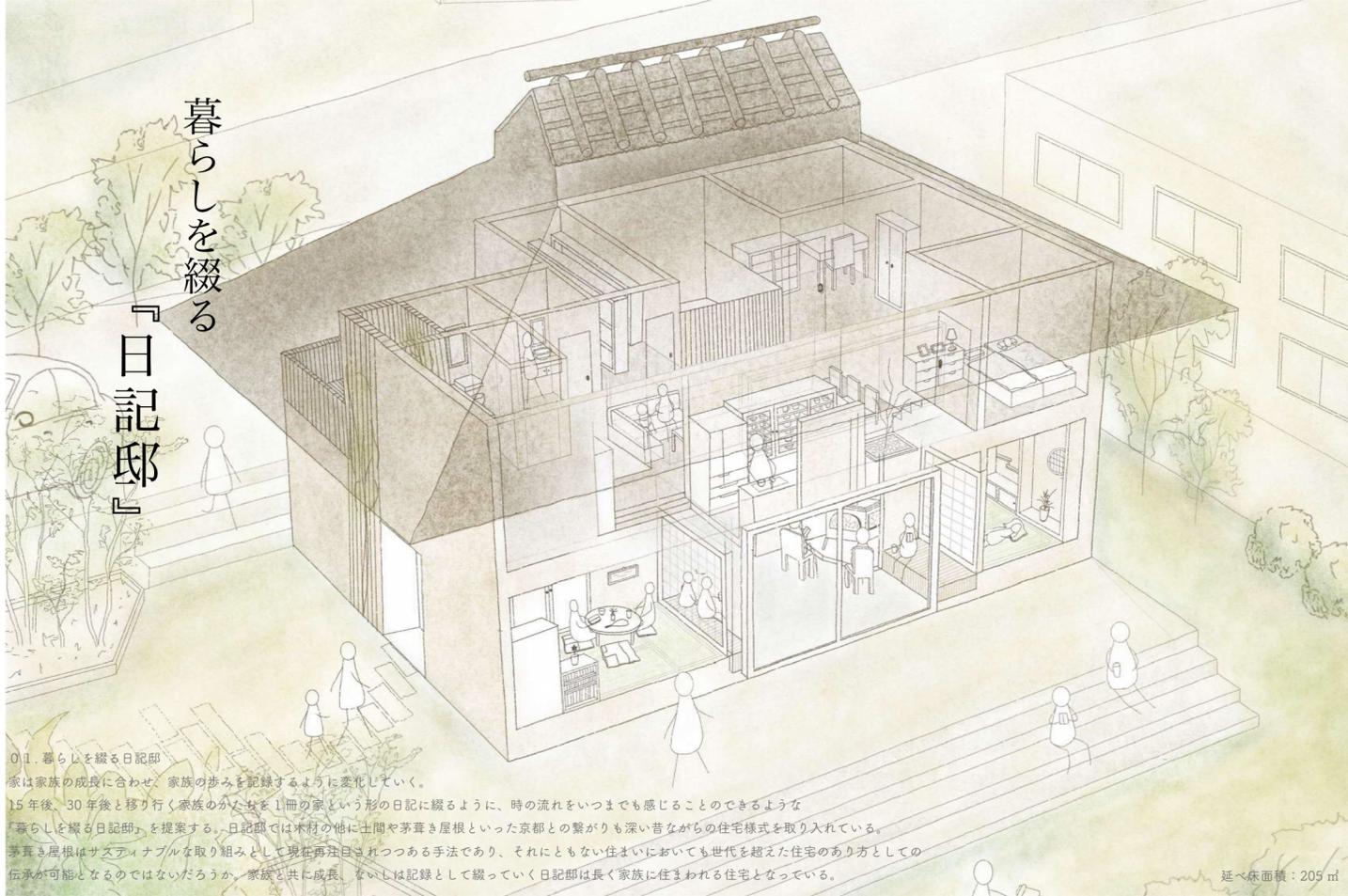
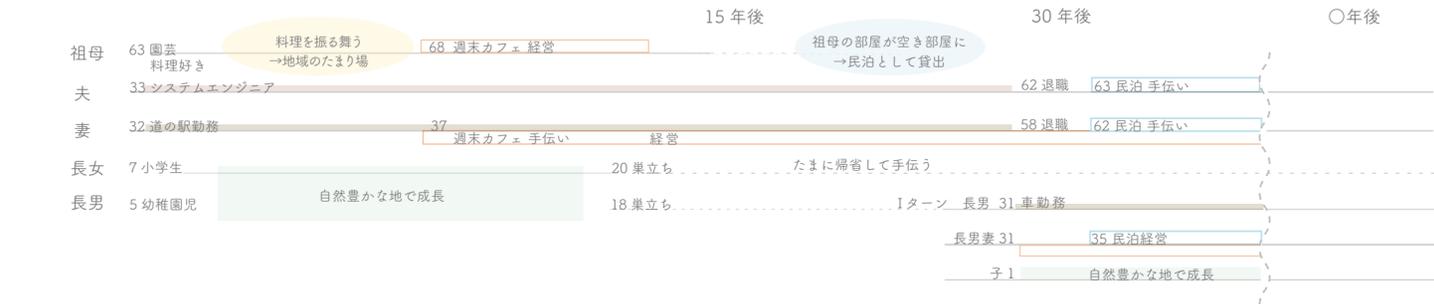


暮らしを綴る 『日記邸』

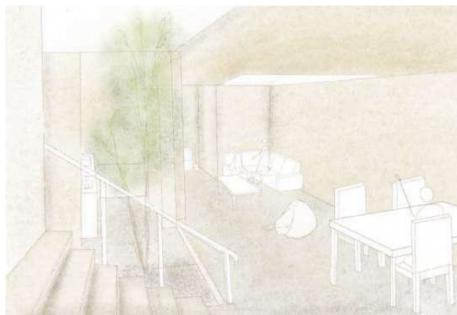
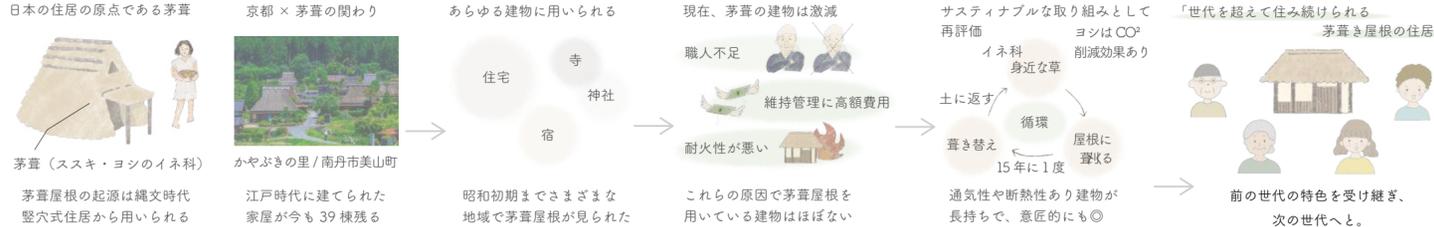


01. 暮らしを綴る日記邸
家は家族の成長に合わせて、家族の歩みを記録するように変化していく。
15年後、30年後と移り行く家族のかたちを1冊の家という形の日記に綴るように、時の流れをいつまでも感じることのできるような「暮らしを綴る日記邸」を提案する。日記邸では木村の他に土間や茅葺き屋根といった京都との繋がりも深い昔ながらの住宅様式を取り入れている。
茅葺き屋根はサステナブルな取り組みとして現在再注目されている手法であり、それにもない住まいにおいても世代を超えた住宅のあり方としての伝承が可能となるのではないだろうか。家族と共に成長、あるいは記録として綴っていく日記邸は長く家族に住まわれる住宅となっている。 延べ床面積：205㎡

02. 家族と暮らしの成長日記



03. 古き良きものを受け継ぐ 持続可能でエコな建築材「茅葺」

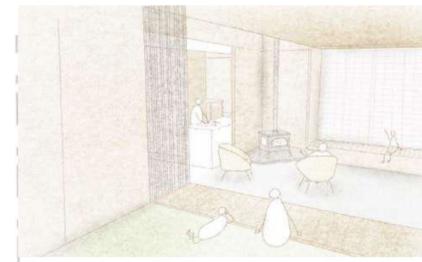
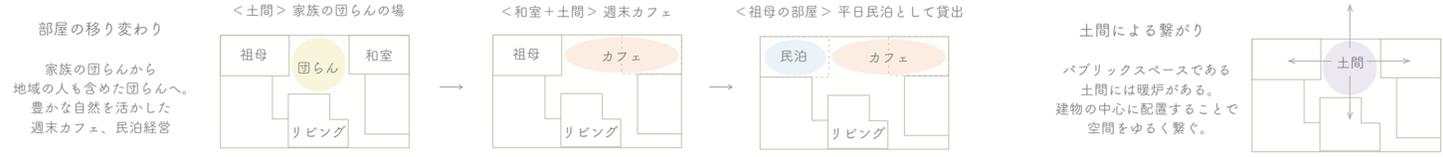


～和木あいあい～
一階の南側に夫婦家族のリビングを設けた。スキップフロアで共有空間とゆるく分けたことで人のあたたかさを感じつつも、吹き抜けにより開放感のある広々とした空間となった。

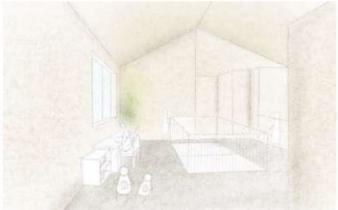
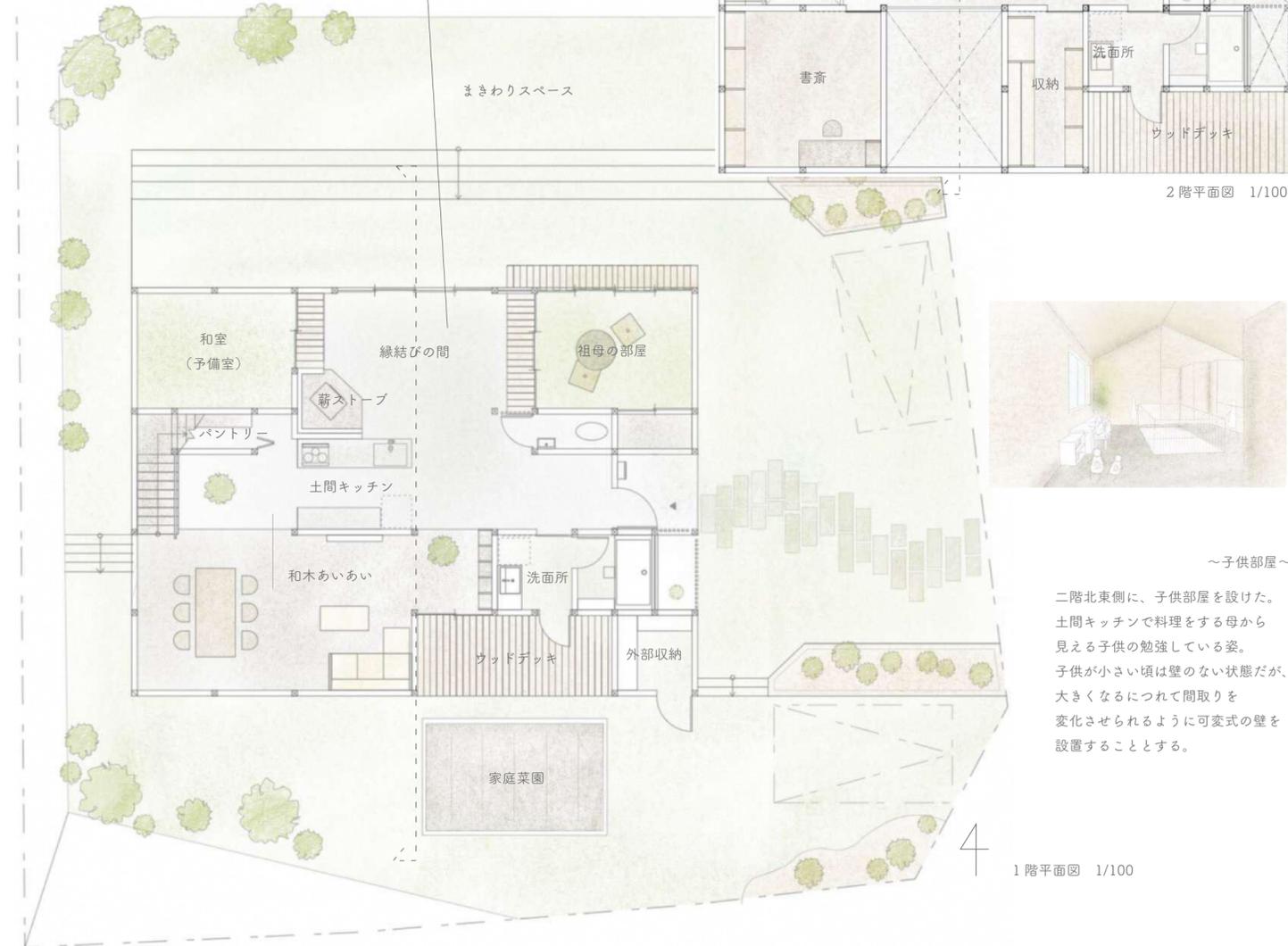


A-A' 断面図 1/100

04. 家の成長日記



～縁結びの間～
1階の北側に土間を設けた。平日は家族の団らんの場、週末になると左右の和室をつなげ、祖母と夫の妻が営むカフェ空間となる。このように時の流れにより集まる人々が変わり、多くの縁が生まれ結ばれていく場所となる。



～子供部屋～
二階北東側に、子供部屋を設けた。土間キッチンで料理をする母から見える子供の勉強している姿。子供が小さい頃は壁のない状態だが、大きくなるにつれて間取りを変化させられるように可変式の壁を設置することとする。

